学校番号	102

令和４年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	現代文Ｂ（教育出版）						
副教材等	改訂版　評論速読トレーニング 1500(数研出版株式会社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文は文章を読んで「考えを深める」ことがもっとも大切な科目です。授業中は板書をただ写すだけでなく、しっかりと文章の内容を自分なりに考えて授業に臨んでください。また、わからない漢字、語句などは教員の指示がなくても自分で調べておくようにしてください。近代以降の様々な文章を読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

１．近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２．近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３．進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業時の反応 ・発問	・ノートへの記入	・感想文	・定期考査 ・発問	・指名読み ・定期考査 ・小テスト ・課題 ・発問

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	第二部　随想　同情トイフコト	①随筆の特質を理解し、読解力を向上させる。 ②「同情」という言葉の意味を読み取り、人間の生および文学における想像力について考える。	○			◎	○	a:主題になっている言葉への関心、およびイメージをもち、それに対する意見、感想を述べている。 d:①筆者の執筆姿勢と人間理解を読み取っている。【行動の観察（発言・ノート）・考査】 d:②それぞれのエピソードの、心理的対立と和解の道筋を理解し、筆者の主張を読み取っている。 d:③作品の全体的な把握をとおして、随想の主題を考え、要旨をまとめている。 e:具体例や引用がもたらす効果を理解している。	a: ・行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
	第二部　評論一　虚構のリアリズム	①文章の論理的構造に着目して評論文を読み解く力を養う。 ②現実を「表象」するという人間の営為について理解を深める。	○			◎	○	a:人間が現実を「表象」する行為について具体的イメージをもち、興味・関心をもって本文を読んでいる。 d:①人々が感じる「リアルさ」に関する筆者の主張を読み取っている。 d:②できごとの「現実性」と、虚構が作り出す「リアリティ」の違いについて読み取っている。 d:③現実を「表象」するという人間の営為について、自分の考えを的確に表現している。 e:論理の構築や展開、構成を正しくつかんでいる。	a: ・行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

	第二部　小説一　アルプスの少女	①戦後に書かれた優れた小説を読み、現代小説のテーマや方法の多様性を知る。 ②作中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深める。 ③語句を調べたり、表現上の特徴を分析したりすることで、豊かな語彙力や幅広い表現力を養う。	○	○		◎	○	a：作品のテーマや寓意に関心をもち、すすんで本文を読んでいる。 b：この作品をとおして作者が言おうとしたことを読み取り、話し合っている。 d：①この作品が『アルプスの少女ハイジ』とどのような関係にあるのかを考える。 d：②「山の下の世界」と「山の上の世界」は、それぞれどのような意味をもっているのかを考える。 e：パロディの手法を理解している。	a: ・行動の分析(発言・ノート) b: ・行動の観察(発言・ワークシート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
二学期	第二部　小説二　1　舞姫	①「近代文学の古典」と位置づけられる優れた作品をとおして、人間としての生き方、さらに、恋愛のあり方などという普遍的な命題についての考えを深める。 ②作中人物の境遇や性格、心理を正確に把握する。	○	○	○	◎	○	a：『舞姫』をはじめとする鷗外の作品に興味をもっている。【行動の分析（発言・ノート）】 b：この作品の主題について、自分の意見を述べている。 d：①人間にとって普遍的な命題について考察を深めている。 d：②主人公の意識の変化を整理し、また、主人公の心理を情景描写等との関係で捉えることで、文学作品の読解に関して理解を深める。 e：森鷗外やその作品について理解している。	a: ・行動の分析(発言・ノート) b：行動の観察(発言・ワークシート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト
	第二部　評論二　欲望と資本主義	①論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養う。 ②資本主義やアイデンティティといった、現代社会が直面する問題について認識を深め、自己の問題意識を明確にする。	○			◎	○	a：市場経済について関心をもっている。 d：①筆者の「欲望」と「資本主義」に対する考え方を理解し、具体的事例を想起している。 d：②筆者の考えを理解し、それに対する自分の意見をまとめている。 e：論理の構築や展開、構成を正しくつかんでいる。	a: ・行動の分析(発言) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

三学期	第二部　評論四　技術の変質と二十一世紀の課題	①評論文の読解をとおして、現代社会の現状を客観的に分析する思考を養う。 ②現代技術の進歩とそれが投げかけている倫理の問題から、私たちに課せられた課題を考える。	○			◎	○	a：「技術の変質」という問題に関心をもち、意見・感想を述べている。 d：①現代技術の特質と、自然の歴史に対する責任という問題を理解している。【行動の観察（発言・ノート）・考査】 d：②自然科学と人文・社会科学という「二つの文化」の溝を埋めなければならない理由を理解している。 e：論理の構築や展開、構成を正しくつかんでいる。	a: ・行動の分析(発言・ノート) d: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 e: ・行動の観察(発言・ノート) ・定期考査 ・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c：書く能力　d：読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。